



かがやく 150 周年 ここから未来へとび立て 平和 希望 努力の 小原田の子 「平和 希望 努力」小原田小だより

令和6年度 No.44
令和7年2月21日
郡山市立小原田小学校
文責 校長 佐久間誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



授業参観・PTA 奉仕作業・学年懇談会へのご参加、ありがとうございました



お忙しい中、授業参観にお越しいただき、ありがとうございました。
4月からのお子さんの成長はいかがだったでしょうか。
学級という集団生活の中で、ご家庭で見せる姿とは違うお子さんの姿を見ることができたのではないのでしょうか。学校は、学習する場という役割だけでなく、集団生活の中で、友達の気持ちを考えたり、自分の思いを効果的に伝えたりすることを学ぶことのできる貴重な場です。集団生活を通し、ルールを学んだり、場に応じた行動を考えたりすることもできます。これからも子ども一人一人の成長のために、集団生活の特徴を生かした様々な教育活動に取り組んでまいります。

さて、PTA 奉仕作業の後の「校長あいさつ」及び学年懇談会の中でご説明させていただきました令和7年度の小原田教育について、再度確認させていただきます。これからも重要な内容については、学年・学級懇談会を通して保護者の皆様にお知らせしてまいります。

○ 令和7年度の教育活動について

- ・ ホームページでお知らせしておりますとおり、令和7年度から、小原田中と同じ歩調で子どもたちを見て、育てていくため、通知票を年2回にする評価の2期制を取り入れていきます。学期は3学期ですが、通知票の配付は年2回とします。このことで、夏休み前・冬休み前の授業や生活に落ち着いて取り組むことができるようにしたり、B時程の回数を減らしたりしていきます。
- ・ 小原田中学校との連携を強化していきます。生徒指導について、共通実践を増やしたり9か年で指導を行ったり、小中連携授業研究会で、子どもの実態について共通理解を図ったり進路選択に向けた情報共有を行ったりしていきます。
- ・ 現在、清掃はなかよし学年で行っていますが、縦割り班で清掃を行うことにします。1年生から6年生までの縦割り班を作って清掃に取り組むことで、5・6年生のリーダーシップを育て、高学年を中心とした人間関係づくりを進めていきます。
- ・ 出前講座・外部講師の活用、6年のキャリア教育の実施、ネット・スマホ出前講座の実施とともに、教育委員会・郡山警察署・古舘交番との連携を進め、様々な問題やトラブルに対応していきます。
- ・ 朝の欠席連絡方法について、SNS を使って連絡することもできるようにしていきます。
- ・ 市内で大変増加しているとともに、本校でも保護者の皆様からお問い合わせやご要望が多く寄せられている「通級指導教室」や「特別支援学級」の情報発信を行っていきます。



○ 令和7年度の学級数について

- ・ ニュースや新聞で報道されておりますとおり、教員希望者が全国で急激に減少している状況です。また全国で7,000人を超える教員が休んでいるという報道もありました。福島県でも、全国と同じ問題が起きており、教員が不足するという深刻な状況が続いています。
- ・ 福島県では、県独自の少人数教育を進めてきましたが、教員が足りないため、これまで通りの学級数の確保が難しい状況になっています。そのため、国の法律に基づき、学年の児童数が71名にならない学年では、現在3学級ある学年でも2学級になる可能性が高くなりました。今後、学級数に変更が生じる場合は、あらためてお知らせいたします。なお、学級数の確定は、3月下旬になる見込みです。

現在の学年のまとめをしっかりと行って、中学進学や進級に結び付けていきたいと思っております。残りの期間も、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

令和7年度の小原田教育の充実に向けて

小原田小

令和7年度の小原田小の教育を次のように進めていきます。

- 1 小原田中学校との「共通実践と連携」を進め、小中で協力して小原田地域の子どもを育てていきます
 - (1) 小原田中学校と同じ「評価の2期制（年2回の通知票）」の実施により、小中同じ歩調で子どもたちを育てていきます。
 - (2) 小原田中学校との「生徒指導の共通実践」を進め、情報交換・情報共有を積極的に行っていきます。
 - (3) 小中連携授業研究会をとおり、子どもたちの様子を互いに参観し合い、情報交換し、子どもの実態に適した授業改善に努めていきます。
- 2 出前授業とキャリア教育を実施し、充実した学びに結び付けていきます
 - (1) 出前授業や外部講師を積極的に活用し、専門家の話を聞いたり具体的な体験をしたりする機会を設けていきます。
 - (2) 5年で「ものづくり体験教室」、6年で身近な職業を取り上げた「キャリア教育」を実施し、将来の職業への関心を喚起します。
 - (3) 「評価の2期制（通知票を年2回）」により、特別時程（B時程）の回数を減らします。
 - (4) 教育委員会への報告・連絡・相談を大切にし、教育委員会と連携した生徒指導改善と授業づくりに結び付けていきます。
- 3 子どもたちの問題解決力を育てていきます
 - (1) SNSトラブルに対応するため、情報モラル教育（ネット・スマホ出前講座）を実施します。
 - (2) 「縦割り班」による清掃を実施し、高学年をリーダーにした異学年交流の機会を設けます。
 - (3) 「評価の2期制（年2回の通知票）」により、夏休み前・冬休み前の授業のまとめや生徒指導を充実させます。
 - (4) トラブルや生徒指導問題について、教育委員会や関係機関、外部機関と積極的に連携し、対応していきます。
- 4 その他
 - (1) 朝の時間に混み合い電話が繋がらない状況のため、朝のお忙しい時間帯でも連絡しやすいように、欠席連絡をSNSでも行うことができるようにしていきます。
 - (2) お問い合わせやご要望が大変多い通級指導教室の取組と特別支援学級の様子について、情報発信を積極的に行っていきます。